

科目名	日本語		英文表記	Japanese		2016.3.20	
科目コード	3014						
教員名: 玉城あゆみ 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			3年	必	学修	2単位	講義
科目目標 【MCC目標】	日本語の基礎を固め、学んだ文法項目や表現を統合して論理的に思考しながら理解・発信する力を高める。 【Ⅲ-A】読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な発想・思考力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培う。 【Ⅷ-A】相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。						
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(中間・期末)の平均の定期試験(80%)+課題(20%) 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。						
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
	80%	① 日本語による論文や記事の構成を理解し、論理的に考察することができる。	定期試験および演習等の課題で評価する。	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	20%	② 日本語能力試験N1、N2相当の語彙・表現の知識を増やし使えるようになる。	定期試験および演習等の課題で評価する。	N1レベルの語彙・表現を理解し、適切に使うことができる。	N2レベルの語彙・表現を適切に使うことができる。	N2レベルの語彙・表現をある程度理解し、使うことができる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○	◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		80	0	0	20	100	
基礎的理解	①、②	60				60	
応用力(実践・専門・融合)	①、②	20			10	30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①					0	
主体的・継続的学修意欲	②				10	10	
授業概要、方針、履修上の注意	様々な資料の速読や精読とそれに関するディスカッションを通して、日本語を媒体とする多様な学習活動に必要なコミュニケーション能力を育成する。授業では毎回、短い速読練習も行う。また、日本語能力試験N2/N1レベルの語彙、漢字などの課題も課してその提出状況も評価する。						
教科書・教材	『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著(アルク) 『日本語能力試験対策・日本語総まとめN1/N2(語彙/漢字)』佐々木仁子他著(アスク出版) 『中・上級者のための速読の日本語 第2版』(The Japan Times)						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	クラスオリエンテーション	2	履修内容確認、プレースメントテスト(NT模試でレベルチェック)		
2	読解演習	2	第1課「異文化適応」速読①		
3	読解演習	2	第1課「異文化適応」速読②		
4	読解演習	2	第2課「いじめ」速読③		
5	読解演習	2	第2課「いじめ」速読④		
6	読解演習	2	第2課「いじめ」速読⑤		
7	応用演習	2	これまでの復習		
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」速読⑥		
10	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」速読⑦		
11	読解演習	2	第3課「衝動買いを誘導する」速読⑧		
12	読解演習	2	第4課「おいしい食感の理由」速読⑨		
13	読解演習	2	第4課「おいしい食感の理由」速読⑩		
14	読解演習	2	第4課「おいしい食感の理由」速読⑪		
15	応用演習	2	これまでの復習		
期末	期末試験	[2]			
16	前期の復習	2	前期の復習 宿題確認 第5課「日本人の意識」		
17	読解演習	2	第5課「日本人の意識」		
18	読解演習	2	第5課「日本人の意識」		
19	読解演習	2	第6課「フリーター問題」		
20	読解演習	2	第6課「フリーター問題」		
21	読解演習	2	第6課「フリーター問題」		
22	応用演習	2	これまでの復習		
23	後期中間試験(行事予定で週変更可)	2	第7課「安全でおいしい水を飲むために」		
24	読解演習	2	第7課「安全でおいしい水を飲むために」		
25	読解演習	2	第7課「安全でおいしい水を飲むために」		
26	読解演習	2	第8課「まじめという言葉」		
27	読解演習	2	第8課「まじめという言葉」		
28	読解演習	2	第9課「がん告知」		
29	読解演習	2	第9課「がん告知」		
30	読解演習	2	第9課「がん告知」		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	語彙・表現文法・読解などの演習課題			各1時間×30回	
②	既習項目の復習をし、与えられたテーマに沿った応用練習			各0.5時間×30回	
③	語彙・漢字の課題			各0.5時間×30回	
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)